

## 西上州 倉淵・天衣の滝

---

岩田

【日時】 2011年2月27日(日)

【メンバー】 L高橋、飯田、小川、岩田

今シーズンからようやくアイスに復帰できた。1回目は相沢、2回目は雲竜渓谷。久しぶりだったにも関わらず、けっこう体が覚えていたのか意外にも登れた。もう少し手ごたえのあるところを登りたいなー、と調子づいていたら高橋さんからお誘いが。まだあまり知られているエリアではないそうで写真を見ると上部がバーチカルになっていてなかなか面白そうである。これは行くしかあるまい。

あちこち迷いながらも長い林道を突き進んでいくと急に大きな滝がドンと現れる。林道の対岸が滝なのでアプローチはゼロと言ってもいいだろう。暖かい日が続いたので氷が溶けているかとも思っていたが、やや薄くはなっているもののなんとか登れそうだ。

せっかく来たし、ここを逃したら今シーズンは登れないかもしれないのでここは自分がリードをさせてもらった。



右側がしっかり凍ってそうだったのでこちらを登ることにした。下部は緩やかな氷が15mくらい続く。ウォーミングアップにはちょうどいい。さて核心ともいえる上部の垂壁だが下から見上げたときは大したことないな、と思っていたが近づいてみると思ったより長く、ツララ状であることがわかった。「甘かった…」とつぶやいてみるがもう遅い。なんとしても登らなければならない。ツララ状でスクリーを決めにくいのが厳しいがスタンスがしっかりしているのでなんとか登れる。しかし、やはりフィフィを使いまくってしまった。まあシーズン3回目だから仕方ないとしておこう。



垂壁が終わる緩やかになるのだがここを乗り越えるところが一番怖かった。ちょうどこの頃、左から登ってくるパーティーが現れ、うまいなと思っていたらプロガイドのT氏だった。垂壁を越えてから終了点の木まではやや長い。60mロープ1本では足りないのでセカンドの小川君がロープを引いて登り、2本つなげてトップロープを作ることにした。

トップロープを作ってから各自が好きなように登る。飯田さんはリードでも登り、見事登り切った。T氏もトップロープをかけていたのでロープを借りて左側も登らせてもらった。こっちは氷がもろいところが多くて氷が落ちてきてけっこう危ない。

夕方まで登ったがなかなか楽しめる滝だった。なによりもアプローチが近いというのがいい。ただし、アプローチの林道がところどころ落石の恐れがあるところがあるのがちょっと不安だ。林道が寸断されることがないことを祈り、また訪れたいところである。

【グレード】V級